

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[39] 縮小する秋田経済 (秋田県の名目GDPは1996年度がピーク！)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 経済学科 准教授 深澤 泰郎 (計1名)
授業概要	人口、GDP統計、その他統計によって、秋田県経済が縮小している実態を説明します。		
授業方針	実態の説明と、その打開策を探りたいと思います。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 15名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「縮小する秋田経済(1)」 ＜6月20日(火) 17:30~19:00＞ 秋田県の人口問題について、実態を説明するとともに、将来予想を説明します。市場予想、経済予想と違い、人口予想はまずその通りになります。 実際には2020年は約96万人、2022年は約93万人(最新データ)で、2040年は約67万人になると予想されています。毎年約1万4千人ずつ、減少していくという非常に暗い予想になります。まず、この現実を確認します。			
第2講: 「縮小する秋田経済(2)」 ＜6月27日(火) 17:30~19:00＞ 秋田県GDP統計、その他の統計によって、秋田県経済が縮小している実態を説明し、打開策を探ります。 上記のように、人口減少を主因として、秋田県経済は名目GDPで見れば、縮小しています。この状態を打開する方法はあるのでしょうか? 容易な話ではないのですが、実態を把握したうえで、打開策を考えてみましょう。			
その他	自分で納得してみるため、簡単な電卓(またはそれに代替可能なもの)を持参してください。		
テキスト	特にありません。講義内容にかかわる図表を、資料として配付し、黒板を使用します。		
参考文献			
関連科目			